

仮設石巻市夜間急患センターの診療に従事して ～全国の小児科医の協力を～

日本小児科学会雑誌の平成27年春の号に、「東日本大震災被災地における小児診療支援」を呼びかけるパンフが同封されていた。これに記載されていた「東日本大震災小児医療復興新生事務局」のホームページには、同事務局が震災により顕在化した地域医療の疲弊に手を差し伸べるべく、日本小児救急医学会、日本小児科学会と、被災3県である岩手、宮城、福島県の大学、地域基幹病院などが協力し合い、3県庁合同で、2012年12月20日に同事務局が設立されたこと、岩手・宮城・福島の被災3県で診療支援をしていただける小児科医師を広く募集していて、いずれの支援受入施設も、短期、長期を問わず、また遠方からの支援も広く受け入れていることが書かれていた。そして、その理由は、「全国の皆様に、是非、震災医療、そして地域医療を肌で感じていただきたいからに他ならない」からと結んであった。就業形態はさまざま、①小児初期救急外来のみの日直や当直、②入院患児のいる病院での休日の当直、③数日～1週間程度の病院での小児診療などである。この内、土曜日18時から翌日曜日午前7時までの初期救急当直ならば私でもできそうだったので、「仮設石巻市夜間急患センター」に応募することにした。ホームページにはカレンダー表示があって、担当医師が決まっているかがわかるようになっている。なので、このカレンダー表示と自分のスケジュールを照らして、第一希望を5月23日～24日の日程で応募書類を提出した。応募期日は前月の5日までで、同じ日に複数の希望者がいると事務局で調整をするとのことだったが、後日決定の通知をもらった。この時点で、私は無報酬でのボランティアだと信じていたが、決められた報酬が支払われるということで、却って恐縮してしまった。

石巻市夜間急患センターは東日本大震災による津波で全壊したが、日本赤十字社からの支援を受け、平成23年12月から「仮設石巻市夜間急患センター」として診療を再開したという。出勤時間・交通手段などは、事前に宮城県庁の担当者とのメールのやり

板橋区小児科医会 会長 宮川美知子

とりで支障なく教えてもらえた。東京からは新幹線で仙台駅に行き、仙台駅からは高速バスを利用するようにという指示だった。仙石線の復興整備は十分でなく、仙台駅から石巻駅までの交通としては高速バスがベストということに、「震災から4年も経つのに…」と思わざるを得なかった（仙石線は5月末に全線開通した）。

当日は12時30分まで東京都板橋区にある自分の病院で診療し、それから東京駅→仙台駅→石巻駅の経路で17時20分過ぎに診療所に到着した。事前にわかるのはホームページ上での情報程度だったので、どのような設備があって、どのくらいの患者数かわからず不安だったが、これは杞憂に終わった。診療所の建物は2階建てのプレハブだが、外見とは違い内部はきちんとした造りになっている。夜間救急に対応する医師は、小児科、内科、外科の3人で、この他に複数の事務員、4～5人の看護師のほか薬剤師や放射線技師が常駐していて、インフルエンザなどの迅速検査や尿検査、血液検査、エックス線単純写真、CT検査も実施できるようになっている。診察ブースのほか、処置室や観察室もある。注射薬を含む薬剤はある程度の種類のもので常備されており、薬剤師が常駐しているので、細かい処方になる小児科としては大変有難かった。当直室は2階に



平成27年5月外観

あって各科別の個室になっており、放射線技師の当直室も設置されていた。当直医師の分として、土曜日の夕食と日曜日の朝食が用意されていた。近くの料理屋から届けられるものようだ。当直者に細かい配慮がされており、頭が下がった。

私が関わった5月23日は、この地域の気温が日中30度を越えており、18時の診療開始直後から発熱の児や、熱中症と思われる児が続いた。23時過ぎに生後5カ月の、自宅で痙攣を起こしたと思われる児が来院して以後の深夜には落ち着いていた。この痙攣の児は病院での精査加療が必要と思われて、石巻日赤病院の小児科に相談したところ、快くお引き受けただけで、心から感謝している。



平成27年5月処置室の一部

帰りに駅の周辺で立ち話をした。「最近は何軒住宅の建設が盛ん」なこと、しかし「駅近くに予定されていたスーパー建設の話はとん挫した」ことなどが、話題になっていた。高速道路の出口には大型のスーパーなどが入る大型商業施設があって、こちらの駐車場は結構いっぱいだったが、駅周辺はそれほどでもなかったが、建築途中の大型ビルがあり今後期待をつないだ。

この当直は不思議な当直で、「また来よう」という気になる。一緒に働くスタッフの人柄だろうか…。後日、また時間に余裕ができた10月末に再度当直に従事することにした。全国の小児科医師の皆さまも、是非一度当直に行ってみてください。



平成27年5月当直室